

鳥取空港ビル株式会社 経営状況報告書

一 法人の概要

1 名 称	鳥取空港ビル株式会社
2 目 的	当会社は経済、文化、交通の発展促進と、航空並びに航空利用者の便宜を図るため、次の事業を営むことを目的とする。 1.鳥取空港における航空機の離陸又は着陸及び停留の用に供する施設の運用及び管理並びに整備 2.航空旅客及び航空貨物の取扱施設その他の鳥取空港の機能を確保するために必要な施設の運用、管理及び賃貸業並びに整備 3.航空思想の普及、観光に関する事業 4.貸室業並びに施設、設備及び器具の賃貸業 5.航空事業者、旅客及び貨物に対する役務の提供 6.食堂、喫茶店及び娯楽施設の経営 7.飲食物、旅行用、日用雑貨及び観光土産品の販売 8.郵便切手、収入印紙、酒類、煙草、医薬品及び宝くじの販売 9.損害保険代理店業及び旅行斡旋業 10.駐車場業 1 1.広告宣伝及び広告代理店業 1 2.貸自動車業及び貸自動車取次業 1 3.旅客、貨物運送取次業 1 4.施設管理運営業 1 5.前号に附帯する一切の業務
3 設立登記年月日	昭和42年8月1日
4 資 本 金	150,000,000円(300,000株)
5 株 主	ANAホールディングス株式会社 50,000,000円 日ノ丸自動車株式会社 35,000,000円 鳥取県 33,340,000円 鳥取市 16,660,000円 日本交通株式会社 4,000,000円 日本通運株式会社 4,000,000円 永瀬石油株式会社 2,500,000円 株式会社山陰合同銀行 2,000,000円 株式会社鳥取銀行 1,000,000円 その他民間団体など 1,500,000円

6 役 員

代表取締役	馬 場 進 (日ノ丸自動車株式会社 代表取締役社長)
専務取締役	川 本 良 則
取締役	谷 和 敏 (鳥取県 県土整備部 次長)
取締役	綱 田 正 (鳥取市 都市整備部 部長)
取締役	澤 志 郎 (日本交通株式会社 代表取締役社長)
取締役	栗 山 良 政 (日本通運株式会社 広島航空支店 支店長)
監査役	杉 原 伸 治 (株式会社山陰合同銀行 取締役 専務執行役員 本部長)

7 従 業 員 28名

8 事 務 所 本社 鳥取県鳥取市湖山町西4丁目110番地5

二 平成30年度事業実施状況

(1) 事業概況

《鳥取空港》

鳥取空港の利用状況は、408,732人(利用率67.2% 対前年比105.2% 20,309人増)と東京便開設以来、初めて40万人を超えました。現在5便就航しておりますが、うち1便は「羽田発着枠政策コンテスト」枠で、令和2年3月25日までとなっており5便継続に向けて更なる増客対策が重要となっております。国際チャーター便は韓国務安、台湾台北などに就航し、904人(対前年比203.1%)の利用者がありました。

《事業概況》

今期の当社事業は、鳥取県が実施した「ターミナルビル一体化工事」に続き、建設から30年以上経過し、老朽化が進んでいた国内ターミナルビルについて、大規模なリニューアル工事を実施しました。狭隘化していた搭乗待合室拡張、保安検査場改修、旅客動線変更に伴う到着階段・エレベーター撤去、到着手荷物搬送設備(ターンテーブル)更新、フリーWi-Fi整備など、総工費約2億2千万円で平成31年1月に完成しました。工事費用は県からの補助金と無利子借入金合わせて1億5千万円を活用しました。

また、平成30年4月20日に鳥取県と「鳥取県鳥取空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約」を締結し、7月1日より空港運営会社に移行しました。従来の国内線ターミナルビルの運営に加え、空港基本施設(滑走路、駐機場、航空灯火設備、駐車場施設など)や、増築で一体化されたターミナルビルに新規4店舗を加えた7店舗の物販飲食テナントを誘致し営業開始するなど、事業規模は大幅に拡大しました。また、運営にあたり空港管理部を創設して、鳥取県より職員派遣を受け入れ、社員数は8名から28名に増員しております。

以上の状況のなか、平成30年7月28日にグランドオープンを迎えましたが、オープン以降の来場者数(航空利用者を除く)は目標値を大きく上回り約35万9千人となりました。

鳥取空港ビル株式会社 貸借対照表

平成31年3月31日現在

[単位：千円]

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	437,083	流動負債	136,434
現金及び預金	406,390	未払金	121,776
未収入金	30,569	前受金	13,173
商品	17	預り金	551
仮払金	107	未払法人税等	934
固定資産	553,811	固定負債	109,515
(有形固定資産)	536,399	敷金	14,146
建物	316,061	退職給付引当金	20,369
建物附属設備	164,109	長期借入金	75,000
構築物	3,907	負債の部合計	245,949
工具器具備品	26,286		
車両運搬具	0		
		純資産の部	
機械装置	17,622	株主資本	744,945
改装費	8,414	資本金	150,000
(無形固定資産)	560	利益剰余金	594,945
電話加入権	293	利益準備金	3,900
ソフトウェア	267	(その他利益剰余金)	591,045
(投資等)	16,852	別途積立金	250,000
出資金	16,841	繰越利益剰余金	341,045
預託金	11	純資産の部合計	744,945
資産の部合計	990,894	負債・純資産の部合計	990,894

鳥取空港ビル株式会社 損益計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日 [単位：千円]

科 目	金 額
営業収入	582,330
国内ビル部門	204,115
空港管理部門	378,215
売上原価	25
売上総利益	582,305
販売費及び一般管理費	546,065
国内ビル部門	180,615
空港管理部門	365,450
営業利益	36,240
経常利益	38,000
税引き前当期純利益	14,290
当期純利益	6,010

株主資本等変動計算書

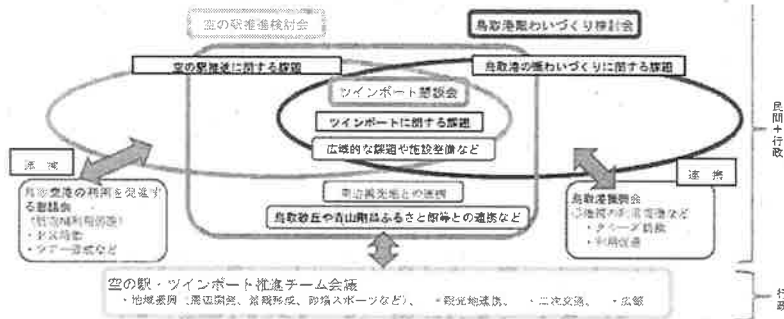
自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日 [単位：千円]

	株 主 資 本					株主資本 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金				
		利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰越利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計	
当期首残高	150,000	3,600	250,000	338,335	591,935	741,935
当期変動額						
剰余金の配当				△ 3,000	△ 3,000	△ 3,000
利益準備金積立		300		△ 300		
別途積立金						
当期純利益				6,010	6,010	6,010
当期変動額(計)		300	0	2,710	3,010	3,010
当期末残高	150,000	3,900	250,000	341,045	594,945	744,945

③鳥取砂丘コナン空港の「空の駅化」、「ツインポート化」の推進

- ・県地域振興部、観光交流局等と協力した「観光・地域振興」による新規需要開拓策
- ・「空の駅」を具現化（ANA総研との連携）
- ・鳥取砂丘コナン空港 「空の駅・ツインポート推進チーム会議」への参画
- ・多彩な空港イベントの開催
- ・ツインポート（鳥取空港、鳥取港）で連携したイベントの開催
- ・物販、飲食店舗の共同販売促進の実施
- ・ホームページを活用した情報発信
- ・デジタルサイネージを活用したツインポートPR事業

県が推進しているツインポート関連の検討会等への参画



④ANA、ANAグループ会社との連携

- ANA及びANAグループ会社との連携によるインバウンド誘致の促進
- ANA及びANAグループ会社と連携し、観光アクション部門、訪日誘客パッケージ（電子決済、多言語対応サービス、デジタルサイネージ広告）などの導入検討

（2）航空機利用者以外の空港利用促進

- ①県、関係事業者、地域住民、地域の幼稚園・保育園・小中学校、高校、大学との連携
- ②「空の駅」「ツインポート化」の推進
「わったいな」や「からいち」などと連携したツインポートイベントの開催など（（1）③再掲）
- ③自治体が実施する観光振興、地域活性化策との連携
- ④鳥取、山陰の情報発信機能強化
- ⑤鳥取空港情報「来んさいNaVi」による情報発信
- ⑥地元商工会と連携し、「チャレンジショップ」等の手法により地域物産品の販売コーナーを展開
- ⑦体験型イベント、ワークショップ、フリーマーケットなどの開催
- ⑧テナント（物販・飲食店）との共催イベント開催
- ⑨「鳥取エアポート free Wi-Fi」を活用したニーズ調査→サービス向上
- ⑩空港コンサートなど音楽イベントの開催
- ⑪ターミナル周辺に地域の特産物を植栽し来訪者へのおもてなしやイベントに活用

令和元年度イベントの実施計画

航空機利用者以外の空港利用促進を図り、空港の賑わいを創出するため、民間のアイデアにより多彩なイベントの企画を行います。

今年度以下のようなイベントを計画しています。

イベント名	開催予定	内容（案）
「未来の鳥取空港」ポスター展示会（新）	5月	小中学生を対象として「未来の鳥取空港」をテーマとしたポスターを募集。 優秀作品を表彰し、ターミナルビルに展示
鳥取空港ナイトバスツアー&星空観察会（春）	5月	バスによる空港ナイトツアーと星空観察
レンタサイクル事業（新）	5月	レンタサイクル事業により鳥取空港と鳥取港を結ぶ「かっこいい空港ロード」や周辺観光地へ
空の駅フェスタ グランドオープン1周年記念イベント（新）	7月	鳥取空港のグランドオープン1周年を記念してマリニピア賀露と交流を拡大する多彩なイベントを開催 ・ツインポートスタンプラリー 「鳥取空港」と「鳥取港」でスタンプを集め抽選。 景品として賀露「わったいな」で販売されている特産品や鳥取空港店舗で使用できる商品券をプレゼント ・親子航空教室 全日空のパイロット、キャビンアテンダントによる航空教室 ・ステージイベント ・飛行機のタッチダウン、テイクオフ見学ツアー ・ワークショップ
滑走路早朝マラソン	8月	鳥取空港の滑走路2,000メートルを往復するマラソン大会。普段ジョギングでは見ることのできない景色が楽しめます。
鳥取空港ナイトバスツアー&星空観察会（夏）	8月	バスによる空港ナイトツアーと星空観察
夏のツインポートイベント空港納涼祭（新）	8月	鳥取空港と鳥取港（わったいな）との共催イベント 鳥取空港納涼祭 ・イベントホールで「スーパーボールすくい」「射的」など夜店出店 ・「わったいな」との連携
空の日フェスタ2019	9月	検討中
空港グルメフェア（新）	10月	空港内の店舗と共催したグルメフェアの開催など
鳥取空港ナイトバスツアー&星空観察会（秋）	11月	バスによる空港ナイトツアーと星空観察
クリスマスイベント	12月	クリスマスツリーの点灯式、「ミニ演奏会」（大学との連携）ワークショップ開催など

年間計画工程表（巡回点検等）

【エアサイド(巡回点検)】															
施設区分	施設名称	点検区分	標準回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
滑走路	10/28	巡回点検Ⅰ	3回/年												
		巡回点検Ⅱ	3回/年												
誘導路	E	巡回点検Ⅰ	4回/年												
		巡回点検Ⅱ	8回/年												
	W	巡回点検Ⅰ	3回/年												
		巡回点検Ⅱ	3回/年												
エプロン	E	巡回点検Ⅰ	4回/年												
		巡回点検Ⅱ	8回/年												
	W	巡回点検Ⅰ	3回/年												
		巡回点検Ⅱ	5回/年												
	S	巡回点検Ⅰ	3回/年												
		巡回点検Ⅱ	7回/年												
着陸帯、滑走路端安全区域			1回/年												
誘導路帯			1回/年												
遊走帯			1回/年												
CSE通行帯等			1回/年												
保安道路、場周道路			1回/年												
場周柵			1回/年												
のり面、護岸			1回/年												
排水施設、進入灯橋			1回/年												

【ランドサイド(巡回点検)】														
施設区分	点検項目	標準回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅客ターミナル地区にある歩道ルーフ	構造物の状況	1回/年												
	取付の状況	1回/年												
構内道路、駐車場		1回/年												
路側式・複柱式道路標識、道路付帯施設		1回/年												
のり面、擁壁		1回/年												

【ランドサイド(車上巡回による点検)】													
施設区分	標準回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
構内道路、駐車場	3回/年												

年間計画工程表（経常維持修繕工事）

工種	施工箇所	標準回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
草刈工	制限区域内	2回/年												
	ターミナル地区	3回/年												
	管理用地	1回/年												
舗装工	舗装面清掃工	滑走路	6回/年											
		誘導路	6回/年											
		エプロン	6回/年											
		ターミナル地区(構内道路)	12回/年											
		ターミナル地区(歩道等)	1回/週											
		ゴミ除去工	適宜											
	排水溝清掃工	1回/年												
	道路付風物清掃工	1回/年												
	沈砂池清掃工	適宜												
	標識維持工	飛行場標識維持工	適宜											
誘導路		適宜												
エプロン		適宜												
植栽維持工	剪定(夏季・冬季)	1回/年												
	雑草抜き取り	1回/年												
	施肥	1回/年												
	灌水	1回/年												
	薬剤散布	2回/年												
緊急補修工	舗装補修工	適宜												
	施設維持工	適宜												
除雪工		適宜												

○ 飛行場灯火施設の運用管理

鳥取空港保安管理規程に基づき、運用手順、飛行場灯火施設保守要領等を遵守し、航空保安施設としての機能の低下を防ぎ、航空機の安全航行に期するため、適切な管理運用を行います。

(2) モニタリング

○セルフモニタリングの基本的な方針

当社が、実施契約等に定められた業務を適切かつ確実に履行し、県が求める要求水準を充足し、空港の安全運用を確保し、さらに空港利用者へのサービス向上を目指し、モニタリング計画書に基づくセルフモニタリングを実施します。

セルフモニタリングは、以下のモニタリングを行います。

○要求水準の充足に対するセルフモニタリング

○経営に対するセルフモニタリング

○ 要求水準の充足に対するセルフモニタリングの方法

(1) 基本方針

空港運営等事業において、空港施設等の運営、維持管理業務について、関係法令及び空港保安管理規程（以下「空港保安管理規程等」という。）に基づき、セルフモニタリングを行います。

て、県の職員の派遣を求め、継続的で安全・確実な空港の管理運営を行います。
 ◇派遣受け入れにあたっては、職員の処遇について県と十分に調整を行ないます。
 ◇空港の就航促進、利用促進、空の駅に関する事業等、今後強化すべき事業について必要な人材を確保します。

- ・事業期間中に、派遣された県職員から当社プロパー職員への的確な技術移転を行い、持続可能な管理運営体制を構築します。
- ・空港の管理運営にあたり県と緊密に連携し、管理運営の確実性・信頼性を高めます。

(3) 委託会社及び協力会社との協業体制

- ・管理運営に従事する委託会社や協力会社と連携を強化し、安心・安全で的確な空港の管理運営を実施します。

(4) 人材育成に関する施策

- ・国等が実施する空港管理に関する研修への参加、当社が実施する研修などを通じ、空港の安全管理、業務水準の向上を図るとともに、一人ひとりの社員が自発的、積極的、継続的にスキルアップにチャレンジできる環境を推進していきます。

6. 収支計画

令和元年度の収支計画

(単位：千円)

項目	予算額	備考
運営費交付金	428,308	
着陸料収入	63,780	
定期便	62,992	
チャーター便	431	
その他	357	
土地建物等貸付料収入	31,102	
土地使用料	16,643	
PBB等使用料	222	
施設使用料	2,692	
テナント賃料	10,032	
広告収入	1,513	
その他収入	528	
収入合計	523,718	
空港等維持運営費	438,967	
人件費	116,091	
維持管理費(灯火、消火救難、車両、修繕等)	232,659	
光熱水費	11,043	
大規模修繕費	57,800	
除雪費	14,133	
事務費	4,332	
その他	2,909	
国際線ターミナル運営費(中央部を含む)	78,022	
人件費	5,508	
維持管理費(警備、点検、清掃等)	39,650	
光熱水費	30,500	
その他	2,364	
支出合計	516,989	
運営収支	6,729	